



平成27年6月

第53号

荒川区立南千住第二中学校

(題字:校長 齊藤 進)

ナンちゃん・ニーくん



いんとく つ 陰徳を積む

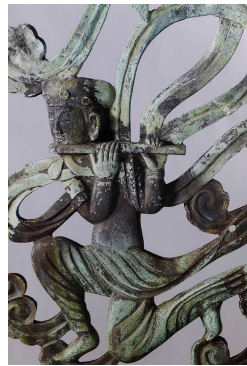
～ 誰もいないところでゴミを拾える人に ～

校長 齊藤 進



奈良薬師寺にある東塔(修繕中)と西塔の頂上には水煙という火炎状の装飾金具があります。これは火事の連想を避け、同時に水難をおさえる意味もこめて名づけたといわれています。

高さ 34.1 mを誇る塔の頂上には右の写真にあるような見事な彫刻があります。この彫刻を見たいと思っても、34 mの高さにあるものを見ることはできません。なぜ、当時の人は地上から見えないとわかってこれほどの彫刻を飾ったのでしょうか。実はここに いにしえ 古の日本人の美しい心があるのです。見えない場所



だからこそ手抜きをしない、という心があったのです。

手抜き工事とか耐震偽装とか、美しい日本人の心はどこに行ったのかと嘆かわしくなります。

修学旅行先のホテルの主人に本校生徒が大変に褒められました。マナーの良さや従業員へ全ての生徒があいさつすること、料理への感謝を伝えること等、今までの修学旅行生のなかで最も素晴らしいと最大級の賛辞をいただきました。

そのホテルのある部屋のテーブルの上に、忘れ物点検にやってきた教員があるものに気がつきました。それはお世話になったホテルへのお礼をしたための置手紙でした。ここでこのような素晴らしい心をもった生徒は3年2組の女子5名で、称賛を送りたいと思います。

薬師寺の水煙も置手紙をした生徒の行為にもどちらも見ていないところ、見えないところで心配りをする美しい古の日本人の心に触れた思いです。

さて、陰徳を積むとは、誰もいないところで善い行いをすることです。身近でできることでは誰もいないところでゴミを拾うことです。確かに誰も見ていません。しかし、自分が見ています。そんな美しい心をもった人になれたらいいですね。

前期生徒総会

5月22日(金)6校時、前期生徒総会が行われました。生徒総会は、今年度前期の生徒会活動の活動方針や具体的な活動計画を決める大切な議決機関です。生徒会本部役員を中心に準備を進め、全生徒会員、つまり全校生徒が一堂に会して行われました。

総会の冒頭では、生徒会本部役員(2-2)の開会の言葉に続き、同じく生徒会役員(3-3)が生徒総会の意義を全校生徒に説明しました。

続いて中央委員会から推薦を受けた議長団により、議事が進行されました。議長は3年1組女子、副議長は3年1組女子、2年3組男子、書記を3年1組女子、3年3組女子、2年3組女子、1年3組女子が務めました。

議事は、生徒会本部、学級委員会、図書委員会、環境委員会、健康委員会、JRC委員会、放送委員会の順に活動方針や活動計画が発表され、それに対して事前にクラス討議を経た質問、修正意見、賛成意見などが各クラスの代表から出されました。活発な討議の後、採決され、ほぼ全会一致で生徒会本部、各委員会の活動方針・活動計画などが承認されました。

生徒会本部からは今期(第27期)生徒会のスローガンも提案され承認されました。また、議事が終了した後は、各学年の学年委員長(1年生4組女子、2年生1組男子、3年生3組女子)が学年目標を、さらに各クラスの学級委員から学級目標が発表されました。このスローガンや目標のもと、各委員会、そして生徒会員の一人ひとりが活発に活動することを確認できた生徒総会でした。



全校生徒が一堂に会す会場



顧問と専門委員長



最後は起立して承認



各クラスの目標発表

《 第27期 生徒会スローガン 》

深めよう

仲間との絆・地域との絆

レスキュー部

荒川区総合水防訓練



慣れない中でも真剣に取り組むレスキュー部員
左上から バケツリレー・担架搬送・側溝清掃・D級ポンプ排水

ました(巻末「部活動等の活躍」に掲載しています)。訓練の内容は、大雨が予想される際の側溝の清掃活動、浸水家屋からのバケツリレーによる排水、土のうを使っての家屋浸水防止、倒壊家屋からの負傷者の搬送、D級ポンプを用いての冠水道路からの排水作業などでした。これらの作業(工法というそうです)には実際にレスキュー部員が参加しました。1年生は初めての生徒も多く、緊張気味でしたが、大変立派に役割をこなしました。D級ポンプを使用したことがある2年生は堂々としたようすで、終了後には本部に集まった荒川区副区長さんをはじめ、多くの方々から賞賛の拍手をいただきました。また、これらの工法以外にも、土のうをたくさん使った河川益水防止工法、水没車内に取り残された人の救助など、かなり本格的な訓練もありました。会場には、はしご車なども投入されていました。

南千住二中のレスキュー部は会場に登場するたびに場内の放送で高らかに紹介されていました。災害時に中学生が果たせる役割に、多くの人々が、そして社会が大変期待していることが分かります。部員にとっても大変貴重な経験



投入されたはしご車



トレードマークのピブス



最後は副区長さんによる「工法点検」

5月30日(土)、汐入公園で荒川区総合水防訓練が行われました。この水防訓練は、区内の消防署(南千住・荒川・尾久)や消防団、町会、区役所が協力し台風の際などに洪水等の災害が起こった場合を想定し、防災のための訓練をするものです。これまで毎年行われていましたが、今年度はじめて南千住二中レスキュー部が参加しました。この訓練に中学生が参加するのは初めてのことだそうです。

3年生は修学旅行のため訓練には参加できませんでしたが、1,2年生部員計41名が参加し

でした。

3年生

修学旅行

5月28日(木)から30日(土)まで、3年生は2泊3日の修学旅行でした。3年生にとってはとても楽しみにしていた中学校生活最大の宿泊行事です。事前から準備を重ね、この日を迎えました。

グループごとに南千住駅でチェックを受け、東京駅の集合場所に向かいました。遅れるグループもなく、予定通りに集合できました。3日間にかかる3年生の意気込みが感じられました。新幹線内ではこれからの期待に胸が膨らみ、元気で明るい声、表情であふれました。配布された少し早めの豪華なお弁当を食べ終わると、間もなく新大阪駅に到着しました。

クラスごとにバスに乗り込み、最初に向かったのは薬師寺でした。薬師寺ではお坊さんの説法を聞きました。説法と言ってもユーモアを交えての楽しいお話で、自然に引き込まれました。笑いも起こるお話でしたが、その中でも「昔の人は見えないところにも手を抜かず、立派な仕事を施した」というお話に、心が洗われたように感じました。続いて向かったのは奈良公園。東大寺を中心に班行動で見学しました。やっぱり鹿は可愛いく思わず鹿せんべいを手にしました。そして大仏。想像以上に大きく、息をのむ大迫力でした。

初日の宿舎は大仏殿近くのホテルでした。高級感のあるホテルに気持ちも高鳴り、豪華な食事にさらに心が躍りました。夜は春日大社で献灯の体験学習を行いました。

二日目は再びバスに乗り、平等院そして京都市内へと向か



奈良公園



京都「三年坂」



2日間行った希望者の早朝散歩 二月堂・南禅寺



平等院鳳堂前で学年全体写真

いました。京都に入ると班行動で嵯峨野・嵐山の散策、そして清水寺周辺の班行動をしました。2日目のホテルも奈良に劣らない豪華なホテルでした。夜は漆器の加飾の体験学習に挑戦しました。

最終日は班ごとのタクシー行動。金閣寺、銀閣寺、二条城、三十三間堂、遠くは伏見稻荷など、事前に予定していたコースをめくり、古都・京都の魅力を存分に楽しみ、学習しました。そしてたくさんお土産を買い込んで帰りの新幹線に乗り込みました。

自分たちの力で作り上げた3日間の修学旅行。多くの成果と思い出ができ、また一回り大きく成長した3日間でした。



修学旅行では豪華な食事楽しみの1つ

3年生「学年だより」より

六月の朝礼で校長先生から「陰徳を積む人にならなりたい」というお話があった。「誰が見ていないか」というお話があった。「誰が見ていないか」というお話があった。...



もうすぐ運動会

6月13日(土)は第27回運動会です。現在、練習の真っ最中です。6月9日(水)には予行練習も行われました。今年の運動会も赤・白・黄の色別対抗がメインです。1年生が4クラスのため、各学年抽選で色が決められ、赤「3年3組・2年2組・1年1組」、白「3年2組・2年1組・1年2組」、黄「3年1組・2年3組・1年3組・4組」と振り分けられました。南千住二中の伝統ともいえるみごとにそろったラジオ体操や閉会式で大きな声で歌う校歌の練習にも熱が入っています。また、各学年の学年種目「3年・大ムカデ」「2年・ワッショイ!騎馬戦」「1年・四輪ピク」や学級全員リレー、選手種目などの練習にも一生懸命取り組んでいます。



全校そろってのラジオ体操の練習



すでに力が入る各色の応援

すでに予行練習から応援にも力が入っています。各色の団長は赤・3年3組女子、白・3年2組女子、黄・3年1組女子が務めます。どの色も大いに盛り上がっています。当日を是非お楽しみに。

部活動の活躍

陸上競技部2選手が快挙!

《陸上競技部》 地域別陸上競技大会
 共通女子走り高跳び **第5位**
 共通男子走り高跳び **標準記録突破**

2年3組女子 都大会出場決定
 2年2組男子 都大会出場決定

《レスキュー部》 総合水防訓練参加者
 (2-2) 男子2名、女子1名
 (2-3) 男子2名、女子2名
 (1-1) 男子2名、女子7名
 (1-2) 男子4名、女子4名
 (1-3) 男子4名、女子3名
 (1-4) 男子4名、女子6名



6月は、各運動部の夏季大会が始まります。どの部も最後の公式大会となります。目標達成のため全力で練習に励んでいます。

南千住マイスターのコーナー

前号で「川越夜船」を紹介しました。千住の地には330年ほど前から、川魚・青物(野菜)を扱う市場がありました。南千住から旧日光街道の両側がそれにあたります。通称「ヤツチャ場」と呼ばれていました。市場といっても両側に並ぶ一軒一軒の問屋が市場で、その店先でそれぞれが行われるいわば青空市場でした。せりのかけ声の「ヤツチャ」から、ヤツチャ場の名が起ったといわれています。青物・土物問屋が三十数軒あり、夜明け前から大八車や牛車でごった返し出荷の荷の上げ下ろしで渋滞したといわれます。その中に「ネギ」専門の市場がありました。現在の葛飾区あたりはネギ(長ネギ)の産地でした。そのネギの中でも特に質がよいものが千住に集められました。このことから千住で手に入る良質なネギのことが「千住ネギ」と呼ばれたのです。千住ネギは白い部分が長い、よく見かける長ネギのことです。千住ネギは当り前に私たちの食卓で見かけます。まさに「千住」の名前は全国区です。現在ではその中でも、甘さ・辛さ・うまさ・太さ・食感の5拍子がそろった極上ものを「千寿ネギ」と呼び、区別されることもあり、高級料理店でも提供されていたりします。

江戸時代には、このネギを始めとした様々な生活物資が幕府御用品として江戸城に運ばれていました。昭和に入り、野菜以外の川魚や海産物を扱う市場を統合し、現在の千住橋戸町に東京都中央卸売市場足立市場が開設されました。その後、都市化の進展に伴い、取扱量が増加したこともあって昭和54年9月、青果部門を北足立市場に分離し、現在は水産物専門の市場として開設しています。



南千住の交通と産業 その2
 『千住市場と千住ネギ』

全国に知られている千住ネギ